滿洲日報

本紙代價
一ヶ月前金 四十錢
半ヶ年分 四圓八十錢
一ヶ年分 九圓六十錢
一枚 四錢
郵税無料

廣告料
十九字詰一行一回 二十錢
十四字詰一行一回 三十錢
九字詰一行一回 四十錢

本報價目
一張 四分
一月 八角
半年 四元八角
全年 九元六角

告白價目
一行五號十九字詰一日者每行二角
五日登一月者每行一角五分
長登者每行一角
代價目議

清國營口中盛街（電話二九番）
滿洲日報社

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 漢口 天津
北京 大連 旅順 奉天 遼陽
芝罘 鐵嶺 安東縣
横濱正金銀行牛莊支店
（電話十番支配人室）（百八番事務室）

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告
●山東丸 二十二日 太沽芝罘門司神戸行
大連出帆
●横濱丸 三十日午后一時 門司宇品港神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社 營口汽船出帆廣告
●潮州丸 八月二十三日入港
代理店 ブラシュ兄弟會社 遠來洋行
營口公園地横 電話二十三番

瀛船出帆廣告
●日勝丸 十八日午前十時 厦門、汕頭行
松茂洋行船舶部
海岸東稅關西 電話（五二）（五七）

新着荷 松角材
松茂洋行商品部（電話五二番）

營業項目
一定期預金（長期存款） 三ヶ月 五分 六ヶ月 按年五分五厘 一ヶ年 六分
一當座預金（暫存款） 日歩一錢二厘ニ毛 按年四分五厘
一小口當座預金（零碎暫存款） 按年五分一厘 日歩一錢四厘一毛
一送金爲換取組先（滙兌） 東京、横濱、大阪、神戸、長崎、上海、天津、横濱正金銀行本支店
一貸附金（放利） 一般財産並に土地建物の管理を引受くること 不動産抵當貸附金の委託を引受くること
一附帶ノ業務
正隆銀行
軍政署認可
今回受入ヶ貨幣は軍票及正金鈔票は勿論墨銀小銀貨に至る迄夫々御都合宜敷樣ニ相働候尚近々の内過爐銀の取引をも開始可致候
營口西北街第二百三十號（日本人會西隣）
支配人 深水十八（電話二百十番）

○○ 宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗細布子毛巾花布洋緞布荷花標布東洋緞子紋並且貨眞價實以致敝行名譽日增蒙官許在牛莊屯設立鐵道邊運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘商切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧局勝榮幸之至
總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話（店八三番）（住所五九番）

○○ 東盛和
本行在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤紙貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼有輪船駁船以水腳多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水腳棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是有
總司理人 葉亮卿謹白

○○ 東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祗做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各商北客經理有年誠信相孚還通知之
正理事 潘玉田 副理事 金德魁
設在營口西北街南

○○ 西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

○○ 仁裕號
保裝運各彰火輪船生意兼賣各彰洋什貨糧石等此僅
營口西大廟街路北警乙第十三號

○○ 永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子并蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國士布家綿自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）媚媽咧（軍旗牌）隆佑來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯遊（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣
東營口西北街（舊代代木公司）
日本官煙營口專賣處

SP 糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠設支店所有發賣物品以最價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布匹列下洋各色絨布各式被面各色疋各種綿布其他一切綿物布匹行發賣並特約販賣正日光皮酒價及各樣雜貨木廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街渡邊路（電話百九十一號）西

○○ 志岐組
本組開設營口紀定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

三井
電話 第六十六号 第九十一号
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

倉庫部
○發售新到洋白糖
今回倉庫所在地（青堆子精搗場ト隣リ河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願ト候（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售 日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨所集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹郭漁笙朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦商所樂聞乎如蒙諸貴賜顧請逕ト大德亨內面議可也
營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於大數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦竟受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行 電話 第六十六号 第九十一号

●印判彫刻 ●ゴム印 ●活版名刺 ●各色印肉インキ附屬品一式
右位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名到着候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候
御報知次第店員參上仕候
營口永世街三十七号 刻字舖 尾崎洋行
奉天小西關大街二七八号南側 尾崎洋行分店

當店支配人中村錠太郎本店へ轉任井上一男支配人に就任仕候間此段廣告仕候也
明治三十九年八月十五日
横濱正金銀行牛莊支店

拜啓今般歸朝仕候に就ては一々拜趨御暇乞可仕筈の處匆忙の際其意を得ず缺禮仕候段不悪御海容被下度右乍畧儀新紙を以て御挨拶申上候敬具
明治三十九年八月十六日
中村錠太郎

安東縣市場通七丁目 合資會社秋田商會支店
洋鐵鋼 麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類 其他諸機械ノ製作修繕
安東縣東大街 合資會社秋田商會支店

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候
元神廟街二四九（電話三番）
精乳軒牛乳販賣所

周 鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一号）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎城設數十年開店於朝鮮國漢城仁川木浦鎭南浦營口經營物等處出賣中外雜貨疋頭食嶺器具酒烟兼八客報關裝船裝車并又承辦東淸鐵道輸局代客裝運貨各車站均設分局格外周到不悞ヰ顧
總司理主人 周鶴雲謹
運輸部主任 高瀬麟太郎啓

徽州 怡昌祥茶號
本號專在徽州黃山揀辦三十六峰雲霧仙芽名茶色香味與衆不同加工揀焙重資徵郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤
怡昌祥主人謹白 寓營口恆利德

志岐組木料棧 材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議顧請到本棧

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠計有專銷之約凡影閣紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東淸鐵道轉運行專代客裝運貨物安全迅速價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街（電話十八號）
既設分局 牛家屯車站（電話四十六號）遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街
第五號門牌便是

●銃砲火藥販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需者發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也
官許商 秀淸洋行 鐵嶺東門大街

齒科治療廣告
啓者本醫士現將已前治療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
遼陽西街六十九號
齒科醫士 德平盛剛

遼陽州官設醫院條
一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取銀隨意
一若有願蠲免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規資一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一毎逢慶節及禮拜日一概休辦

告白
DENTIST. Dr. S. KOJIMA.
大日本齒科醫會部長 日本齒科學會評議員
牙大夫學士兒島醫院
●營口元神廟街●
啓者本院主從來於森醫院齒牙科治療從事近時感其狹隘因別卜居本院新式諸器械完備無遺專足於救治牙疼之術鑲齒金銀充填補缺落齒補入妙技矣齒牙疾患者希咀嚼必要欲皓齒金光燦爛ヰ良者速來方知本院主神秘妙技焉伏事
●語曰齒全壽長●來勧者兒島二字要注意

列車發着
大連旅順間 下り 大連發前一一時 八時〇〇分 後
一、乘車驛南關嶺昌圖間各驛より旅順線各驛行のもの及同線各驛より南關嶺昌圖間各驛行の者
一、但し乘出上十錢未滿の端數は十錢に切り上げ徵收す
一、乘券購入の際は混雜を防ぐ爲め金は過不足なき樣注意すへし
一、料金は軍用手票を標準とし計算徵收す

東京電報

●總裁就任承諾(十六日發) 後藤男は兒玉大將の遺志を尊重し且つ先輩の切なる勸誘に對し遂に南滿總裁たるとを承諾したり

●南滿定款認可(同上) 南滿鐵道會社定款は愈ゝ認可されたり

●常務委員の説明(同上) 常務委員の説明に據れば(一)株式は九月より募集すると(二)日清兩國には特別方法に據らずして一般募集法に據ると(三)全國樞要の地區に取扱銀行を定むると(四)證據金五圓株額面以上を爲さず所用額に超過せし時は案分によると等公にせられたり

●鐵道引繼と總裁(同上) 株式募集を終れば陸軍省より現在の鐵道を引繼ぐべく總裁の任命は多分其前に發表せらるべし

●新艦香取の到着(同上) 五月二十四日バロー造船所を出でたる軍艦香取十五日横須賀に到着せり

●第二軍行賞發表(同上) 十五日一萬百六十七名の行賞發表せらる是れにて元第二軍配屬の准士官以下の行賞全部完了す

●援護會の殘金分配(同上) 帝國軍人援護會の殘金百二十八萬圓は内務省より保管使用の訓令と共に各府縣に分配されたり

奉天電報

●萩原總領事の歸朝 (十六日午前八時二十分特派員發電) 萩原總領事本日午後二時出發大連に赴き十九日琴平丸にて歸朝すべし

雜報

●免役兵に恩賜 皇后陛下には陸軍下士卒の兵役免助者二千七百四十二名に對し今回思召を以て左の通り恩賜の御沙汰ありたり

一、金五千七百十四圓 御菓子料
內六百九十圓下士二百卅名、五千廿四圓兵卒二千五百十二名
一、白地フランネル襯衣 二千七百四十二枚

●梨本宮御告別 梨本宮守正王殿下には今回御渡歐につき去る九日御參內兩陛下に御對顏御暇乞の上賢所御參拜あらせられ又同殿下には安藤御附武官臼井家從を隨へさせられ十五日横濱解纜の佛國郵船エルネストシモン號にて佛國に向け御出發あらせられたる趣に拜承す

●陸海軍經常費增加 陸海軍に於ける經常歲出は既に本年度に於て前三十八年度に比し陸軍は約千万圓海軍は約五百万圓の增加を來したるか明四十年度に於ても本年度に比し多少の增額あるべく現に陸軍省に於ては二年兵役を實施するに於て之に伴ふ經常歲出は約四百万圓の增加を來すへく又海軍に於ては新艦及捕獲艦によりて噸數の著しく增加したる爲め明年度經常歲出は更に五百万圓內外の增加を見るへしと

●內債募集の延期 過る第二十二議會に於て大藏大臣は本年八九月頃には內債募集殘額約八千万圓の內國債募集の必要或は之あるへきを說き以て議會の協贊を得たるのみならず別に日露開戰以來數回に募集したる國庫債券の差額を募集するの權能を有し居るを以て合計一億餘圓の內債は今秋季中に募集すべき豫想なりしも爾來臨時事件費の剩餘及び國稅收入の增加等に由り之を支辨するに餘りあることゝなりしかば本年中には前記內債募集の事は之あるまじと聞く

●獨逸の活動 去月十七日の巴黎新聞デバーの亞丁特報に曰く獨逸はバグダッド鐵道敷設に着手してより以來小亞細亞及び波斯に於て其の勢力を扶植し經濟上の根據を堅むることに全力を注ぎ一方には漢堡亞米利加汽船會社は波羅的海と波斯灣との間に各地と聯絡ある定期航海を開くことに努め一方には獨逸政府は波斯及びメソポテミヤに新領事館を開かんとし上下綿密なる豫定計畫を逐ひて着々其の事業を進めけりと

●運河工事と支那勞働者 倫敦通信に依れば華盛頓政府はパナマ運河工事に付き非常の耐忍力を有する勞働者の必要を認め今回支那勞働者二千五百名を試用する事とし請負契約を爲さしめたりと云ふ

●浦鹽上海間新航路 米國東西洋汽船會社の汽船コプチック及びドーリックの二隻は今回同國富豪ハリマン氏の買收する所となりたるか氏は豫て浦鹽、長崎、上海を聯絡する航路の必要を認め居りし際露國にても同航路に着手すへき模樣あり萬一其實行を見るに至らば米國の東洋貿易の消長に關係尠からざるを以て之れに先ち右航路を開始するに決し兩汽船を以て之れに充つる筈なりと云ふ

●東京市債應募成績 英貨東京市公債賣出の結果に就き在倫敦サミコルゴルド商會より日本興業銀行に宛てたる電報によればアンダーライター(下受け應募)の引取額百分の十四、割引步合千分の五にて結了を告け現今の經濟事情の下にありては滿足の結果なりと

●ノ艦の損害程度 五日無事函館船渠に入渠したる浮揚艦ノーウィックは目下艦內泥土の掃除其他損害箇所の撿查中なるか彈痕多き割合に修理上の困難甚しからざるべき模樣なるを以て同地に於ける假修繕は意外の短時日を以て結了すへき見込なりといふ

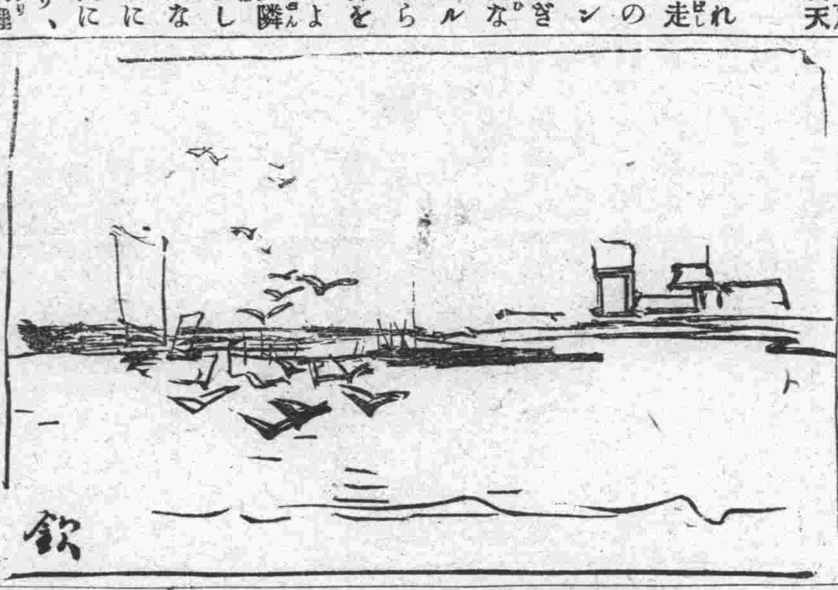
●米國大統領の生活

(紐育インデペンデント誌ヘンリー、ヘール稿)

指を世界の主權者に屈するも未だ米國大統領ルーズヴエルト氏の如き思慮深き田園生活をなすものはあらざるべし、大統領が浩然の氣を養ふために撰擇したる隱家はヴァーヂニヤ州の曠野の中央、鬱蒼たる樹木に蔽はれたるパイン、ノット(群松の意)と呼ばるゝ所にして家は敷地を作るために切り倒したる樹木を採りて用材と爲し玄關は天然の立木を其儘柱として使用したり此處は停車場を距るいと遠き僻陬の地なれば大統領又は其家族が滊車を下りて馬を走らせ又は車を驅るも數時間を費し最寄りの村落に至るも尚二十哩以上を隔つ、パインノットと市街間に住民の家屋略十軒に過ぎざるを見てもいかに人烟稀少、廣漠の境なるかを知るに足るべし、斯る閑散の里はルーズヴエルト夫人に依りて住居に選定せられたるものにて山莊の建築費僅々五百弗を出でず、故に勞働者或は農夫にして之よりも遙に優れたる家に住むもの少からず又隣人にして之より大なる家に住むものも多し然れども山莊は愉快の設備を具へ一の大なる罫放しの竈ありて寒き日又は日暮などには常に火を焚くの用意あり室は僅に四間に過ぎずして他に些やかなる一の小舍あり、家僕一人にて大統領一家の食物を調理し又割烹に堪能の夫人は往々自から手を下して料理を試みるなり

山莊に最も近き隣人は小軀にして目のハツキリしたる山賤にして少くとも二千弗に價する家屋を所有するまで家業榮え土地の牧持の一人にて其名をサム、ホツフマンといふ、彼は二千弗の邸宅に住むも隣人に行き遇ふ毎に其帽子を脫するを例とす若し讀者にして此邊を乘り廻はりラオドルルズーヴエルトが田園生活のために選定したる彼の隱家を見る折は新開地に植民者の作りたる荒木普請の家屋なりとの感を禁ずる能はざるべし而して其主人の在宅の時は彼は途を切り開かんとして剛健の手に斧を揮ふて松樹を切り倒し居るを見ることあらん、生々として繁茂せる森、槻の木の香、そよ〳〵と吹く山風、隱家の屋根、怡々たる孤獨の生活、これぞルズヴエルトが豫てより求めつゝありて遂に森林中の一角に發見し得たるものにて山里の住民はこれをルーズヴエルトの退隱所と呼び做すなり

抑も大統領が此る森林中に山莊を設けたるは多くの都人士が文明流の生活を爲しながら之を田園生活と信じて自らを欺き似而非的模擬の生活を爲すとは大に其趣を異にし此處には一の自動車なく一の流行を追ふ薄志弱行の徒なし、唯素朴の生活を爲さんと欲するものに適する所にして眞に天然を愛し眞面目の事物を愛してこれを唯一の慰樂として怡ぶものにあらざれば到底隱遁所として堪へ得る所にあらざるなり隨て不便此上なく輕便鐵道のある處に出づるにも幾つかの小丘を超えて十五哩を出でざるべからず附近唯一の市場たるスコツトヴヰルの町に行くにも車馬を驅りて尚一時間を要す尤も厨房の空しくなりたる時はウヰルーマス酪店といふに馬を馳すれば半時間にして達するを得るも此店にては鑵詰となりたるハム、豚肉、鱈、クラツカース、薑等の間に合ふのみにて店は重に車軸、脂肪、彈藥等を販賣するものなれば大統領が尙種々の食料品を得んとする時はスコツトヴヰルの町まで車馬を驅らざるべからざるなり



營口八景 其三 牛家屯の落雁

パイン、ノツトには一の市場なく、一の冷藏庫に貯へられたる植物なく、一の肉屋、麵包屋、氷屋に掛くべき電話なし、然し戶外の世界は事々物々一として大觀を具へざるなく數哩を徒步し或は車馬を走らすも山賤の小舍の外小仕事を爲し居る一片の人影すらなし而かも質朴なる田舍の人は見ず知らずの人の來るも喜んで手を差し出して握手を爲し何人をも門戶を開きて歡迎し此處にては人と人との間の文明的敵對的爲、若くは人事の繁雜なる面倒臭きことは其痕跡すらてれを見る能はざるなり米國大統領も此境にありてはお隣のルズーベエルトさんを以て迎かへられ心行くばかりに至る所を徘徊す人を友として親み人間の眞價此處に存せるを樂むものなり

此山莊は華盛頓を距る百五十哩の遠距離にあり、大統領は三四日目毎に此隱家に行くを樂と爲し夫妻相携へて共に馬を驅り或は遊獵を爲し或は運動のため長距離を徒步し又往々獵犬を曳きて其隣人と行程を共にすることあり

所謂田園生活といふも從來のものは富豪が宮殿の如き大厦高樓を築きてこれに草庵の名を附し夏はニユー、ポートに於て冬はパームビーチに於て避暑に避寒に贅を盡し肥馬輕車に鞭ちて金錢を湯水の如く撒き散らして豪華を衒ひ恰も俄狂言の如きことを演じて以て簡易生活なりと信じ得々たりしも米國大統領に至りて始めて眞に田園生活の趣味を解するものなりといふべきなり

●奉天通信

▲總領事の歸京 去十二日新民屯分館式に臨み翌十三日歸廳せし萩原奉天總領事は開館以來の報告並に今後の施設方針に付き打合せの爲め來十六七日頃出發往復一個月程の豫定にて一先づ歸京の筈なりと

▲居留民長の就職披露 茂松奉天居留民長は去る十二日午後六時より日清俱樂部に於て就職披露の宴を開きしが來會者四十餘名茂松氏の挨拶ありて宴に移り手踊其他の餘興ありて頗る盛會なりし

▲支店長の留送別會 十三日午後七時より日清俱樂部に於て正金銀行奉天支店長井上一男氏の送別並に後任者杉原泰雄氏の披露會を開く來會者六十餘名何れも奉天知名の紳士を網羅したる會合とて是亦非常の盛會なりき

▲ロセッタ丸船客歡迎 兩朝日新聞社の催に係る滿韓巡遊船ロセッタ丸乘客は十二日午後三時廿五分撫順より到着、當日は歡迎員の案內にて兵站部宿舍其他城內旅館等に分宿し數日來の勞を慰め翌十三日午前八時一同北陵に參拜しそれより小西邊門外奉天居留民の歡迎會場なる黃爺廟に赴き、軈て定刻に至るや內藤虎太郎氏開會を報じ茂松居留民長は奉天有志者を代表して歡迎の辭を述べそれより中西正樹氏の談話土屋華上記者並に巡遊者總代の答辭あり次に內藤氏の發聲にて巡遊者の萬歲朝日記者岡野氏の發聲にて奉天居留民萬歲を唱へて宴に移り支那樂隊並に瀛華公司の寄贈に係る支那手品等の餘興あり主客十二分の歡を盡し閉會後一同宮殿の寶物拜觀を爲し午後八時瀏喨たる奏樂に送られ壯快なる萬歲聲裡に遼陽に向つて出發せり

●商品陳列館存廢後聞 鐵嶺商品陳列館の存廢に就き其後居留民は總督府のみへの陳情にては事足れりとせず過日領事館を經て外務省並に參謀次長の許へ陳情書を郵送したりといふ

●邦人の死亡出生 軍政開始以來已に二週年其間當地に一戶を構へて生活したるもの亦幾万人に及べり然るに人口に比較すれば邦人の死亡出產甚だ少なし是れ畢竟日本人の通態として十中の八九病氣に罹れば直ちに皈鄉する有樣にて實際此の營口にて落命せるものは非常の急病か或は皈へるに皈られぬ事情の爲め當地にて不幸病歿したる者なり又亦出生者の比較的僅少なる理由は結婚者の數すの少きに原因せしものならむ今軍政開始以來の生死總數を擧ぐれば左の如し

出生十六人 男九名 女七名
死亡五十五人 男三十七名 女十八名

而して此現象は近來に於て漸々增加の傾向を生し先月の如きは死亡四出生五の有樣となれり

●營口の煉化 支那は元來煉化の國にして煉化石價格の高低は日本に於ける材木價格の高低と其比を一にせる次第にして目下の狀況に依れば支那煉化は一個一錢八厘位にして日本の輸入煉化は二錢一厘位ゐなりと云ふ然るに本年は各地方戰亂の後を受けたると昨年來の地方不作か原因して涉やしき賣口なきもの丶如し乍併右は元來北清に於ける有望の事業にして既に邦人の斯業に從事せる向も少なからすと云ふ今少しく斯界通人の談片を紹介すへし

煉化竈にはホフマン式と登り竈式とあり支那のは登り竈式が多し燃料を要する事は少して燒き上げの早き事は「ホフマン式(輪環式)である支那煉化は長さ八寸二分巾四寸二分厚さ一寸九分から二寸にして日本の長さ七寸五分巾三寸六分の厚さ一寸八分に比すれは大なり色合の黑きは燒きの足らさる故なるも火を強くせは赤くなるなり持久力の點より云へは家屋建築の如き材料には支那煉化か重寶なるも鐵橋の如き工事用には日本煉化に劣る事數等より支那煉化は一坪三百九十枚餘りである日本のは五百十枚で一坪となる次第故建築用としては支那の方が便利なり亦た仕上けの方より云ふも支那の方が安價で日本の煉化は之れに及ばず乍併工事用としては日本のに及ばさる故頃來日本煉化の輸入ある譯合なり云々

●訪問錄 予は昨日當地駐在の露國領事ベルチエンコ氏を露國領事館に訪へり氏は年齡三十有餘性質淡て快活なるも擧動頗る愼重にして亦質素なり▲勝頭口を開いて曰く御忙そがしいでせうと問へば答へて曰く目下閑散頗る無聊に苦しむと更らに語を次いで曰く目下當地方には一つの居住民なく亦當館下には著しき物資の出入もなし只營口に形式的の機關として駐在せる如き感あるに過ぎず御尋ねの露清銀行建築工事は來る十二月頃完成する見込なり商業上に關する詳細も天津の總領事にあらされば委細を語る能はすと云へり▲乍併氏は北京公使館付にして永年支那に居住し支那語の如きは尤も得意の由政略に富める露國が氏を以て當地に任命せるは見る所にては頗る其當を得たるもの丶如し將來氏の活動亦括目して觀るべきものならん▲訪問の際可笑しかりしは予が呼鈴を押しだれば白衣輕裝の書記生らしき人來りて余を一室に請せり先づ刺を出して領事に面したしと云へば答へて曰く私しか領事ですアッシスタンス(書記生)のニキーチンは皈鄉して居りませんと簡易素朴ベルチエンコ氏の如きは蓋し露人の好典型なり

●瀛船彙報

▲汽船フウチユー號 昨日正午芝罘より入港乘客三十一名なり
▲汽船ウエンチヤオ全日十二時半入港乘客二百二十七名ランカオより來る
▲汽船ケイヤン號昨日午前六時十五分芝罘より入港乘客六十八名外雜貨なり
▲汽船牛莊港は一昨日午後二時乘客二百名を積んでランカオへ向け出帆せり

●一往一來

▲步兵六十一聯隊一木軍醫柳瀨才藏氏は一昨日來營旭ホテルに投せり
▲步兵少尉磯田臣公氏は昨日遼陽より來營東雲館に投宿せり
▲海軍大尉家永直稀氏は一昨日出立奉天に向へり

日報俳壇

野梅選

課題集句選 其八

、渡し絕てしはし木蔭の午睡哉 千曲
讀終し文持たまゝひる寐かな 同
閉思雜慮われ疲れたり雲の峰 同
○警報の旗おろされて雲のみね 同
、雲の峰いつまて見ても松靑し 同
、くもの峰忽ち消て古塔かな 同
○くもの峰我巨人今立ちにけり 同
、二日三日いつか癖つく午睡哉 茶亭
墟原をゆめみる宮かひる寐哉 同
蛤の城見たてたりくもの峰 同
筑波のみ眼に入る野邊を雲の峰 同
、雲の峰高き淵明かはまれかな 同

▲夏季雜題 句數及期日を限らず
▲課題 蚊 涼 朝顏 八月末日まて本社編輯局俳壇宛に御投稿ありたし

要貨物の價

穀物相場(五日) 兩 錢
青豆 一石 七、〇四
黄豆 全 七、〇一
黒豆 全 六、〇九

綿布相場 兩 錢
大鹿 一疋 四、〇八
巻大狗 全 四、〇六
金牛頭 全 四、〇四

綿糸相場 兩 錢
異馬
老人馬 一疋 四、〇五
金李鼻布 全 四、〇五
藍團龍票布 全 六、〇〇
全 五、〇五

兩 錢
九龍 一梱 七六、〇
彩美人 全 七四、〇五
人担茶 全 七五、〇
紅人 全 七四、〇五
四童人 全 七四、〇

內地向 一〇二、〇五
上海向 七一兩〇五
天津向 一〇三圓五〇
芝罘向 一〇三、五〇
(正金銀行)

(軍票百圓 銀弗百)

淡谷
本號開設營口東青堆子發賣
栢木元料 松木方料
栢木大小 …
此木材出售

晴

營口地方天氣豫報
自十七日午後六時至十八日午後六時

小説　市松格子（五）　ふみを

「島ちやん、けふは怎麼だね。」
漸々手を入れて少しは緑の色を戻した松の葉を調べながら達雄は、いま外から歸つて來たらしいお島を見返つた。
「は、あの、別にこれと申すほどのお變りもございませんけれど……何も召食りませんものですから、一日一日とお窶れ方が目に立つやうでございますわ。」
其涼しい目を無邪氣なく輝かして
「ふうむ、矢張熱がとれないんだらう。」
「え。」
「醫者はどう云つてる？」
「これで熱が一時に下ればよございますけれど、此頃の樣では些の一分二分宛下つてるのですから、この三四日が安心出來ないつて左樣仰やるんでございます。」
「それでは餘程重症診てるんだな。」
「旦那樣」と傍の梅が枝に手をかけて、身を斜にしながら。「この頃の模樣でございますと、迚も御助け申すといふことは受合はれまいと申されましたが……。」
「餘病は起りはしまいな、急性肺炎丈だらう？」
「はい、……ですけれど左ばかりであつたのが今朝は右にまでも廻りかけたやうな兆候があると申しますから。」
「……………。」
美くしい髯を無意味に捻りながら考え込むでゐるのをお島は手持なく身繕ひして、
「それでは私病院へかへりますが……。」と居合腰になりながらも、問へば、
「よし。」今夜は僕も往かう、注意してやつておくれ、お苦勢だらうが、……併し、あまり詰ては可けないよ。目が大變赤いではないか、夜も寐ないんぢやないか……。」
「え、いゝゑ、何も往屆きませんものですから……。では御免蒙ります。」
追がつつましげに裏木戸を表門へ廻らうとする。
「島ちやん、鳥渡待た。一緒に往かう。あの婆やに那麼云つて御飯を直出さしてくれ。島ちやんのも一緒にね。」
「はい畏まりました、ですけど妾は……。」
「いやお前この二三日非常に弱つて來た、病人の側で碌々御飯でも食べられるものではない、少は氣を休めなければ、お前まで病ふやうなことになると困つちまふ。ね、那麼云つておいで。茲で一緒に喰べるから。」
坐敷に上つて、心配らしげに、お吉が出した膳に二人が付きは付いたけれど、吐息溜息に箸も動かず、そこそこに濟してかたよせながら、達雄が背後より羽織を着せかくれば無言にうけて、帽子を差出すお島を、ぢつと見る。
「島ちやん、ほんとにあまり無理をしないやうにお仕よ」としみじみ。
「いゝえもう、何も氣が利きませんものですから……。」
「さうぢやない、今度は島ちやんがゐてくれたのでどの位、助かつたか譯らない。實に私は、島ちやんに感謝してゐるんだ……。」
お島が何か云はうとするのを手で押止めていざと立掛る時、婆やがあたふた驅寄つて「旦那樣、いま病院から電話でございまして、……。」
「うむ、何と云つて來た。」
「あの奥樣が急にお樣子がおかはりになりましたから……。」
「よし、直往く、島ちやんツ。」
云ふまでもなくお島はふためき立て、もう庭へ下てゐるのである

雜報

●浦汐行女隊二百人餘（三ヶ月間）我賤業婦の大膽なる行動は今更驚くべき事にはあらざれども到底鼻垂男子の及ぶ所にあらず日露の平和一たび克復するや間もなく浦汐の開放を公にせらるゝと同時に滿洲各地に散在せる我賤業婦は先きを爭ふて該地に乘込まんとする意氣込み其大膽さ言語筆紙の盡す所にあらず現に我牛莊領事館のみにても去る六月以來昨日までの旅行劵下附者實に二百二十五人の多きに達し尚本月に入りてより願書を提出する者一層多く去る一日より昨日まで既に五十餘人の下附者ありたりと云ふ而して表面願書の營業は十中八九は洗濯業にして何れも妙齢の婦人多しと云ふ

●十日間の遊興費　不景氣の聲は四方に充滿すれども獨り花柳界のみは相變らず繁昌し毎夜〳〵の大入にて各所に散在る料理店を覗くに家相應に商人あり會社員あり官吏あり軍人あり西洋人あり支那人ありドンチャン〳〵の騷ぎ方到底吾人の想像以外なり例に依つて本月一日より十日迄の各料理店の揚り高を見るに實に一万五千九百七十五圓四十三錢の多きに達し此の登樓人員四千二百八十三人なりと云ふ今此の費消額と人員を各國人に細別すれば

本邦人（商人、官吏、會社員）
費消額一万二千六百九十四圓四十六錢
此の登樓人員二千八百八十四人

軍人（軍屬を含む）
費消額五百六十七圓九十八錢
此の人員二百五十六人

支那人
費消額二千一百七十八圓〇九錢
此の人員一千〇十九人

西洋人
費消額五百三十四圓九十錢
此の人員一百二十四人

等にして尚一千圓以上揚りし料理店を揚ぐれば金城館相變らず最上位を占む即ち一千八百〇五圓余此登樓人員九十五人次は第三樓の一千六百〇一圓余人員百五十一人日本館の一千三百〇二圓人員百十三人にして他は悉く一千圓以下なりと因に現在營業者軒數は七十一軒にて一日現金收入平均十六圓餘なりと云ふ

●劑生八方製藥　南永世街日華製造合資會社の劑生八方製藥は斯道に多年の經驗ある醫學得業士山田長氏の調劑にして何れも効驗多大なる由なれど就中爽快丸の如きは暑氣拂として昨今の季節には至極適當の良藥なりと云ふ

●風流　水骨

▲曾呂利と蜀山人　曾呂利新左衛門といつたら、滑の稽なるもの、蜀山人といつたら、諧の謔々なるもの、其狂歌の馬鹿馬鹿しく御目出度さは恐らく他に比類はあるまい
豐太閤愛翫の松故なくて枯る流石の太閤も不吉の兆として猿面冠者の本性を顯はし顔しかめる事甚しく他處の見る目も氣の毒であつたのを、曾呂利とお目出度顔の新左殿では御目出度し祝すべしといつて

御秘藏の御庭の松は枯にけり
　千代のよはひを君に讓りて

これに次ぎては、てゝに又お目出度御馳走のある處と聞けば何處へでも罷り參ずる一名食散人と呼ばれたる狂歌先生がある、或る時八十の賀の祝ひに參じて居たが、御馳走加減の少し氣に入らなかつたと見えて

八十の賀らくた爺生き延びて
　まだもよはひを松に契るか

と詠んだと

●元神廟の大相撲　五日の取組左の如し

八幡山　友碇
甲州山　紀國山
鶴の森　鳳凰
碇の　照日山
白藤　鳴戸岩
松ケ枝　小松山
鷲ケ濱　猪王山
鶴ケ嶽　玉の森
大江山　手柄山

投書かご

▲一女性よ君は下宿業適當の家屋御望の由諸道具付相當の家屋あり御來談あれ（二本町藤井洋行本山生）▲電話交換局に白す營口の電話は交換手ボンヤリして居る爲か再三再四掛くるにあらざれば通話せず斯くては不便極まりなき故以來日本女子を以て之に換へられん事を敢て當局者に反省を促す（一寒生）▲K、O君に答ふ僕も幸ひ明年徴兵適齢で是非歸朝せねばならぬが君の思付も極當を得て面白し僕は双手をあげて賛成す（元神廟小林生）▲昨日の喇叭節中天籟生の作は當地でも歌つて居る自作の樣にして紙面へ出すとはけしからん許者も注意が足りない（雲上）許者曰くしらべて見ましよう▲不可解一、散髪賃入浴賃の法外に高きは五千の同胞の均しく認むる所なり理髪業組合を監督する軍政署の何等干渉する處なきは何故なるか（H生）▲這麼事を唸り出したが是でも俳句か知らん「滿妻の御里か知れる晝寐かな（素人）▲花になく鶯水になく蛙の聲を聞かざれは美感が起らない者は沒趣味の骨頂だ曠漠たる滿洲の大景中詩趣歌題は簇々と見出し得べしだ（某生）▲金が沒なつたとて巳を袖にするとはあんまり馬鹿にしやがると呟く白痴者が滿洲には多いが貴婦にさへ馬鹿にされる樣な間拔けは迚も滿洲經營など追つても付かぬのだ（春濃生）

俗歌壇

（都々逸）

好なお方に貰し扇、あふげば身に泌む戀の風　春濃子
○
思ふ戀字を扇に書いて、ヒト目折り折り再しらべ　仝

龍田艦
私の願が天までとゞき、主のお役に龍田艦　無腸子

冲の島艦
冲の島かよう千鳥に文てとづけて、主の歸艦を待つばかり　仝

千代田艦
艦隊そろへるあの武者振りの、中に千代田を契る人　仝

壹岐艦
待ちに待ちたるあの壹岐な艦、入れておくれよ河の内　無邪齋

浪速艦
にくや遼河のあの浪速を、靜めて首尾よく見たい艦　仝

○
月の涼しき笑顔の蔭に、花と花とが小酒宴り　むらさき

（投書随意）

●取消　明治卅九年八月十五日貴社新報第三百八號三面雜報欄内女房の薄情有金の持ち逃げなる見出しを附し掲載せられたる一項は事實無根につき御取消し相成度候　明治三十九年八月十六日　營口永世ヶ字二本町海陸館内　正木シゲ　滿洲日報社御中

廣告
硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜類
ラムチ、榕柑水製造販賣並に清酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類
特にラムネ及榕柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す
遼陽西門外街　林洋行

風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
滿洲第一湯崗温泉
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
營口——大石橋——海城——湯崗温泉全停車場——遼陽——奉天

遼來洋行員
大和館へ轉宿す　高間彌之助

内科外科眼科
梅毒婦人科
耳鼻咽喉科
殊に外科は總て無痛手術を施す
永世街第五十二號
藤井醫院

歐米各國最新流行形
西海洋服店（電話二百十七號）
永世街一四一（赤病院三軒目）

靴製造并に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局向ひ
桑田靴店

會席料理　三日月
營口警務課前南江入る

旅館料理
今度室内に大修築を加へ名妓數名を雇入併せて球戲場を增設仕候間諸方御客樣倍舊の御來遊を祈上候
奉天大西關
扶桑館

盛海洋行
洋玻璃　玻璃器
營口永世街

料理
満月
平野町（一六一二）
満月支店
平野町入口
店主　青木惠

牛莊基督教青年會發會式
八月十八日（土）午後八時（營口時間）軍政署前營口商業學校内に於て擧行　日本基督教青年會同盟部長神學博士井深梶之助君出席
一般有志來會を望む　創立委員

昨日ノ廣告中會場ハ都合ニ依リ營口商業學校内ニ訂正

營口日本基督教會設立井石原牧師就任式
八月十九日（日）午前九時（營口時間）カルソン氏邸内會堂に於て　教會委員

基督教婦人會演說會
八月十九日午後三時前記會堂に於て特に婦人の爲　井深博士　石原牧師　出演

社告

一週年大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈するの方法を採ると致しましたその景品中の重なるものは

一等　金時計（天賞堂保險附）　壹個
二等　貴婦人用帶地（白木屋呉服店）　壹筋
三等　純金指環（大西白牡丹製）　壹個
四等　上等洋傘　壹本
五等　縮緬兵兒帶　壹筋
六等　縞毛布　壹枚
七等　フランネル單衣地　壹枚
八等　勸業貯蓄債劵　壹枚
九等　卷煙草入　壹個
十等　言海　壹部
（十一等以下は漸次發表します）

等であります、月極讀者は勿論今後滿一ヶ月以上本紙愛讀の方には周く福引劵を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追々と我紙上に掲げます

有志家寄贈副景品
▲白米　一俵　第三樓
▲八丁味噌（大樽）一丁　金城館
▲手拭　十反　日本館
▲エジプト紙巻煙草五箱　第一樓
▲強縮緬上等兵兒帶一筋　奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個　醉月園
▲玉突劵五十枚　第二軒
▲平野水四ダース二箱　東邦亭
▲エジプト紙巻煙草二箱　三日月樓
▲澤庵積一樽　公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース　東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース　大和館
▲敷島紙巻煙草二十入三箱　萬直し
▲上等西洋料理劵三枚　牛莊ホテル
▲リンネル上等洋服一着　富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚　祇園閣
▲置ランプ三個　二友洋行
▲呉服劵三枚（五圓、三圓、二圓）　玉井洋行

滿洲日報社

廣告

スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等 **麥酒スペシヤルライト**

本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元 大日本麥酒株式會社

營口元神廟街 **關東公司雜貨部**（電話五番）

滿洲一手販賣店

分店 奉天四平街電話十三號 **關東洋行**

● **盛進商行**

東京萬長別製

男物 女物 風流下駄

各種新着仕候間不拘多少御用仰付被下度奉願上候

りん病 せうかち ボーコーカタル 即ち 花柳病の特効新藥

（醫藥學細菌學應用 萬國陸海軍局方參照）

登録商標

THE RINBYOGAN 一回一九服用

博士

御典藥 複方 **麻病丸**

藥價 三百分 三十戔 七百分 五十戔 十五百分 壹円

韓各有名藥店取次全國各地及清

小包料十戔

大阪江戸堀下通三丁目 本家（電話西千五十九番）

〔安々堂藥局〕

複方 **痳病丸**（白濁龔）

此藥耑治白濁五淋赤白帶下及痳病初起之腰痛發熱痙攣疼痛男子生殖器病女子子宮病服之應手奏効不可疑聖藥也宜用嘎洛不洛散洗滌患處則奏愈速

批發所 營口永世街警務課東隣 **回天堂大藥房** 電話百九十號

法學士 辯護士 **値賀連**

大連大山通二丁目三十一番地

目下當地左の出張所に居住す

營口永世街第三號ノ二（金城館ノ南隣）

◉ **煉瓦販賣**

上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニ御需メクダサイ

二本町 **高坂洋行 煉瓦製造部**（電話九十番）

雜貨 洋酒 煙草 卸シ 小賣

大連 南洋 湖北 彩票 販賣

營口

西北街 周 裕和盛

電話八一

鑵詰 紙化 粧品 特ニ 安賣

東清 鐵道 遼河 貨物 運送

御料理旅館 三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二楷屋新築し樓上等も暑に應す 致置候間々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主 川上總吉

會席御料理

座敷は高尚閑雅御料理は原料を精撰致し風味佳良に調進可仕最も美形の粹を極めし御取持は申も愚か殊に御手輕は弊亭の特色に御座候間御安神被遊續々御光來の程偏に願上候

豊濟門街 **柳亭**

二白琴藝妓をも內地より呼寄せ申候間御愛顧願上候

開業御披露廣告

遼陽城外西門外街西へ入

和洋御料理 遠山館

今回皆樣方の御勸により遲れ馳せに開業仕候へ共**料理と勉強 美形と待遇**とは決して〱遲れぬ樣にと精々注意可致殊に一棟は**西洋料理**室の專用に充てコツクも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候以上敬白

旅館 御料理 **東來館**

遼陽陳家街破門東へ入左側

大勉強は本館の特色

近江病院 永世街二本町

院長 **近江周友**

副院長 **增田八郎**

內外科梅毒婦人科眼科胃腸病專門

午前宅診 午後往診

入院治療を諾す

但輕便入院法あり來談を乞ふ

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼陽城外喇嘛塔下 **遼塔ホテル**

仝 城內東街 **遼東館**

仝 城外喇嘛塔側 **滿洲ホテル**

仝 城內西街 **浩氣館**

仝 城外西門外通 **藝陽亭**

仝 上 **遼陽館**

仝 城內東街 **東洋館**

仝 城內北街 **滿洲館**

仝 城外西門外通 **梅廼家**

廣告

今般同業者一同協議の上自今左記麥酒は總て**現金取引**に相定め候間左樣御承知願上候也

（イロハ順）

朝日ビール **糸平公司**

スペシヤルライト **關東公司**

札幌ビール **加藤洋行**

朝日ビール **裕和盛**

朝日ビール **松茂洋行**

惠比須ビール **盛進商行**

新荷着

饌用品 裝飾品 洋食用品 內府器 稀世六寶 以下種々

手提金庫 コツヒー用 附屬品

祭掛及附屬品 夏帽子各種 戶田式濾水器 宇治新茶 ワイシヤツ 及カラー 學校用文房具各種 各種復寫簿

關東公司雜貨部（電話五號）

御旅館

旭ホテル

家屋の宏壯と待遇の懇切と料理の精良とは當ホテルの長處

二百人迄の御宴會に差閊なし

場所は牛家屯行輕便鐵道の央

青堆子新市街（電話二三五）

巡航瀛船取扱元 元神廟五十五号

牛家屯營口間曳船業

瀬取貨物取扱業

東省巡航公司（電話二百三十六番）

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす

○全身魔醉○局處魔醉○嶄新器械○無痛手術○

○梅毒○婦人科○外科○胃腸病○專門 **日本醫院**

新荷着 札幌ビール

加藤洋行

加藤洋行

牛莊松岡病院

內科 外科 **眼科婦人科診療**

入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す

元神廟街第百三十四號

全科醫士 **松岡玄雄**（電話一五一番）

宮門抄

二十三日

外務部 欽天監 侍衛處值日 無引見

新授太常寺卿劉若曾到京請安 並謝

恩 承祐謝授內閣學士恩 希朗阿請

假十日 孚琦續假十日 陸潤庠續假十五日

戴鴻慈端方預備 召見 兵部奏派查齋

之大臣

派出希朗阿 樸壽 芬車 額勒春 善旌 英信

玉璋 全福

召見軍機 戴鴻慈 端方

外務部 陳恒慶遞封奏各一件

論說

南京徵兵與巡警衝突感言

朱通孺稿

前月十日。蘇州募兵與徵兵交鬨。而募兵見殺。本月四日。南京徵兵與巡士互鬨。而徵兵見殺。曾幾何時。兩櫂流血之慘。吾不禁爲中國軍人前途一慟也。此次徵警衝突。始由徵兵二人同車。違背警章。巡士用木棍擊之。徵兵歸營。訴其無禮。各徵兵羣起與巡士爲難。遂成交鬨之禍。其後徵兵還怨毀巡卡。巡士相率不站崗。風潮愈湧愈大。而徵兵二人授首矣自徵兵正法後。學界大動公憤。代雪其冤於是祖徵兵者。與祖巡士者。分爲二派。其祖徵兵者曰。南京徵巡衝突一案。徵兵正法者二人。巡士亦有查辦之說。當局者不得已之苦衷。當爲世所共諒。然而吾聞當局者。查辦巡兵之罪案。則曰巡兵棍毆。幾釀鉅禍。竊以爲未當也。夫巡兵棍毆。幾釀鉅釁。情雖重而法尙可原。惟聚衆不肯站崗。則巡兵之重罪。無可恕者。今試問被之不站崗。爲畏懼徵兵耶。抑爲挾制官長耶。巡兵受國民之豢養。當不惜捐軀。以保衛國民。假使土匪猝起。聚毀巡卡。猛攻巡兵當此之時。巡兵應站崗乎。抑不站崗乎。謂應不站崗則豢養此巡兵者何用。謂應站崗則今日見徵兵而怯。他日遇土匪逃避恐後。更可知矣。故巡兵之不站崗。與臨陣脫逃相差無幾。此卽以畏懼徵兵而論。亦能曲恕其不站崗之罪也。至於聚衆挾制官長。法律具在。如罷考罷市爲首之人。均有死罪而況司法之人。敢於犯法。不當殺耶。苟其不殺。則聚衆挾制官長之舉。將接踵而起。而首發其端者。必爲徵兵。蓄巡兵挾制官長。則官長殺徵兵。徵兵之意。將謂吾等苟挾制官長。官長必殺巡兵。各以挾制爲報復。必有殺不勝殺之勢。此以挾制官長而論。更不能曲恕其不站崗之罪也。此說非欲故入巡兵之罪也。試再平心論之。列表左方。表分(甲)(乙)二說者。爲徵兵巡兵兩面所述肇事情形。各有所祖。故設(甲)爲祖徵兵者。(乙)爲祖巡兵者。而各以其所述。定其犯罪之性質罪案。處分於下。

徵兵之罪狀	犯罪之性質	罪案	應得處分
(一)二人同車	(甲)無心	違警輕罪	可原
	(乙)有心	違警輕罪	應罰
(二)巡士命其下車不遵	(甲)貧病眞情	違警輕罪	可原
	(乙)飾辭違抗	違警	應重罰
(三)衝毀巡卡	(甲)聊以洩忿	大罪	應重懲
	(乙)恃強擾亂	大罪	應死

巡警之罪狀	犯罪之性質	罪案	應得處分
(一)持棍毆人	(乙)無心	越權	可原
	(甲)有心	濫用其權	應重罪
(二)持棍毆軍人	(乙)無心	辱軍人	應罰
	(甲)有心	輕蔑國家	應重懲
(三)不站崗	(乙)怯	溺職	應革
	(甲)挾制官長	大罪	應死

觀於右表所列而再分別其應得處分如左

第一說

(甲)祖徵兵者	(一)可原	(二)可原	(三)應重懲
(乙)祖巡兵者	(一)可原	(二)應罰	(三)應革

觀於此。可知各就所祖者言之。巡兵之罪。已重於徵兵。

第二說

(乙)反巡兵者	(一)應罰	(二)應重罰	(三)應死
(甲)反徵兵者	(一)應重罰	(二)應重懲	(三)應死

觀於此可知各就反對者言之。巡兵之罪亦重於徵兵。

試再就兩方面最重者言之。如徵兵僅毀其受辱之一卡。則可曰聊以洩忿。毀及七卡。則爲恃强擾亂。應得死罪。巡兵如有站崗者。有不站崗者。則不站崗者爲怯。全不站崗。則爲挾制官長。應得死罪。職是之故。徵兵已殺。巡兵亦不能免於殺。況徵兵之毀七卡。傳者猶有疑辭。巡兵之全不站崗。則無可諱。更不可以弗殺。雖然徵兵之毀卡在先。而巡兵不站崗在後。則先殺徵兵。而後殺巡兵。亦無不可。其祖巡兵者曰。自有徵兵以來。滋擾之事。時有所聞。苟不懲以重法。將不足以肅紀律。且軍人資格。何等貴重。凡爲徵兵。宜如何保守此貴重之資格。乃竟行同無賴。動輒逞凶。亦適以汚名譽。江督辦理此案。未免稍涉於苛。然吾則謂徵兵。本有可殺之道。江督殺之正所謂懲一警百。若敷衍姑息。恐軍人重貴之名譽。且至敗壞。而不可收拾。而徵兵益有恃無恐。肆無忌憚。其爲禍尙不止此。辟以止辟。江督所以戮徵兵於現在。江督正所以保徵兵於將來也。其爲巡士辯護。尙有數說。一徵兵故與巡士爲難。本月初四日八句鐘。三十三標一營之徵兵。因移赴新營房。二人便服。共乘東洋車一輛。至淮軍公所前。遇西北路一區。巡警分局。巡長盧岳仙。飭令該車夫不得貪利重載。二人遂扛幇車夫與巡長盧岳仙牴牾。勢將聚衆逞毆。經該營副目勸止始散。不意十句鐘後。該兵士等有意尋釁。糾集多人。先另以二兵士。仍便服共乘東洋車一輛。行至將軍廟。故意將當崗巡士衝撞。巡士方欲詰問。彼二人遽將巡士毆擊。一面出糾集之人。掠奪普利庵商團局之春秋刀。三股叉等。持赴就近之獅子橋。將巡卡搗毀。復將西北一區分局分卡搗毀。然後回營。第二次復糾合多人。將西北二區分局。及各卡搗毀。連搗及下關分局。是役也。自鼓樓南至下關計十有餘里。共計搗毀分局三。巡卡五。刼掠一空。所有公私各物。雖片木寸布。均破壞無遺。甚至一路官燈。無不被拔毀者。巡士等爲巡官先行聞風。傳令不准還毆。故受傷者三十餘人。中有三人性命不保。其餘受刀傷。及重傷者十餘人。該兵士並有官長斜掛週班肩帶。而爲之率領該兵士等形同亂民。逢人便打。且波及居民某米店。毀及稅務司虎頭牌。德領事署之書信箱。及官話學堂。(未完)

中外要聞

●京漢火車通行　京漢鐵路月前被雨水冲動鄭州附近路綫損毀數十里已於上月修理妥善詎次日大雨路綫爲之復損邇後僱工修理以夜繼晝日前竣工試行火車數次毫無窒碍故該公司決計已自日昨起往返火車自京直往鄂想從此而後商旅頗受其便矣

●收回津鎭鉄路交涉　上年以來直隸山東江蘇三省商紳提議收回津鎭路權歸三省商紳自辦各公舉代表人向當軸諸公極力運動外商兩部亦頗表贊成與英德兩國開議然德國欽使堅持不允月前外商兩部會同鉄路大臣磋商決計收回自辦先派袁督爲督辦派孫京卿寶琦爲協辦辦理津鎭路務並照會英德兩國駐京欽使請行廢約聞英國固無論若德國亦覺悟中國堅持廢約情難拒絕頗有允認廢約之意已於日前有匯豐德華兩銀行及銀公司各代表人來京刻正與英德兩使及外部磋商想不久而見了結矣

●周冕赴黑龍江中止　日前程軍帥電致外部略云已開復道周冕前在哈爾賓辦理鐵路交涉因其經手事件有未辦結者請飭速來省辦理加以周冕亦稟請自赴黑龍江辦理交涉以償前非故官場傳有周冕派充黑省交涉局總辦之說然外部堂司以該員係中俄密約主動者慮再已墮俄人籠絡圈內不肯照允遂作罷論該員現仍寓在天津該員由津啓程赴任之說全係無據也按周道赴任贖罪之說雖似情有可憐究未足取信外部諸公有見于此飭禁其赴黑龍江者寔有故也

●俄使調任訛傳原因　近來京城外交界消息有俄國駐京欽使璞科第君奉命調任由俄國武員歐嚕克少將接任之風傳茲聞確實消息云欽使來京日淺諸多經手要件多未辦結俄政府無飭其調任他處之理且於俄使署亦無此消息但有海軍武員歐嚕克君簡任駐京使署武員之信蓋駐京俄使更動之說由此訛傳耳雖然歐嚕克少將係陸軍武員兼任俄廷御前大臣而此次來京之歐嚕克君係海軍武員並非御前大臣名雖相同實二人也

●九廣路將行開議　九龍至廣州鐵路中英商訂合同事宜已提京由外部與英使開議現岑雲階宮保已派龔道心湛到京幫助外部與英使及銀公司代表人開議並面述岑宮保之意見昨龔觀察已到京謁外部諸堂日內外部卽照會英使定期開議矣

●提學使東渡　學部消息各省提學使已於十五日附輪東渡現已經神戶赴東京矣

●鮫學堂學生考優　福州將軍署閩督崇善電商學部爲考優貢畢擬請所有已入學堂及出洋未有出身之廩增附生亦准一律報考等因聞該部以此事與奏章程不符已擬具摺奏駁以示限制

●御賜喇嘛廟名　科布多大臣錫恆奏科城建築廟宇請賞廟名奉旨賞名德佑寺庫倫大臣延祉奏庫倫建立廟宇請賞廟名奉旨賞名與仁寺內蒙昭烏達盟報阿魯科爾沁建盖廟宇請賞廟名奉旨賞名寶善寺均交理藩院咨行該大臣及該盟長遵旨照辦矣

●皇上萬壽受賀禮節　本月二十六日爲皇上萬壽之期由禮部會同樂部將應行詳細禮節奏聞原摺錄下　奏爲禮儀事光緒三十二年五月二十六日奉上諭禮部奏萬壽聖節禮儀一摺著在仁壽殿行禮停止筵宴餘依議欽此欽遵到部恭照本年六月廿八日　皇上萬壽聖節於二十六日在　仁壽殿行禮是日早鑾儀衛陳法駕鹵簿於　仁壽門外南北相向內監設中和韶樂於　仁壽殿簷下兩旁設丹陛大樂於　仁壽門內兩旁俱西向設御史禮部官各二員於　仁壽門外設御史禮部官各二員於　東宮門外兩處侍儀鴻臚寺官分引和碩親王以下入八分公以上在　仁壽殿丹陛上文武一品大臣　御前侍衛在甬道上二品以下之　內廷行走大臣官員等在甬道左右二品文武大臣三四五品京堂在　仁壽門外其餘文武各在　東宮門外咸衣蟒袍補服各照品級按翼排立　皇上具龍袍袞服詣　慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙　皇太后前行禮畢屆時禮部堂官奏請　皇上御　仁壽殿中和韶樂作奏乾平之章　皇上升座樂止鑾儀衛官贊鳴鞭　仁壽門外階下三鳴鞭鳴贊官贊排班丹陛大樂作奏慶平之章鴻臚寺官分引王以下文武大臣五品京堂以上各官及　東宮門外文武各官排班立鳴贊官贊進皆進贊跪皆跪贊叩興王以下文武大臣五品京堂以上各官及　東宮門外文武各官俱行三跪九叩禮贊退王以下文武大臣五品京堂以上各官及　東宮門外文武各官俱復原位立樂止鑾儀衛官贊鳴鞭　仁壽門外階下鳴鞭禮部堂官奏禮成中和韶樂作奏泰平之章　皇上起座還宮樂止王以下文武大臣五品京堂以上各官及　東宮門外文武各官皆退是時內監奏請　皇上御內殿升座　皇后具龍袍補服率　內庭主位詣　內殿　皇后就正中拜位立　內庭主位於左右少後立　皇后率　內庭主位行六肅三跪三拜禮禮成　皇上起座　皇后率　內庭主位還宮其　內庭行禮處所交宮殿監督領侍屆時請　旨遵行所有王公百官及將軍提鎭等慶賀　皇上表文由禮部官屆期恭捧安設於午門外龍亭內俟行禮畢敬送內閣爲此謹具奏聞　恭照光緒三十二年六月二十八日　皇上萬壽聖節於二十六日　受賀據欽天監謹擇得是日宜用卯時吉

雜報

●宦室女傑　前日本港到來大日本帝國戰門艦魚雷艦共數艘官署曾揭諭示概准紳商人民登艦縱觀昨聞人云前日有華官霈公夙志維新熱心愛國向曾游學法國於法國語文學務頗稱諳習而其德配夫人係京師人氏亦堪稱女中特出雖居女流胸羅經濟篤志倡立女學堂尙思同公游歷東西各洋遍採諸强國學務政治法律俾彙成簡編開啓民之智慧庶幾我同胞四百兆咸知勵學精業合群愛國保種自强方稱意願前日霈公躬同其夫人及之僕從人等游觀諸艦乃升艦梯及升艦上礮台各梯每梯陡懸數十級彼怯懦男兒猶作悚惕之色該夫人毫不動容并歷觀諸礮與機括運動等器咸若領畧其意蘊遂迭聲歎贊佈置精密匠心經營言之頗覺中肯該艦兵隊羣焉窃贊不謂中國尙有此特出之女流凡我諸艦到處中國婦女從未有敢升艦上縱其游觀者況該夫人出身宦家由來席豐履厚富貴驕矜豈能身升兵艦徧歷諸險以資閱歷乎詎升諸懸梯絕不心動且見我艦隊形色如常無一毫怯懦之狀並每於所觀機具諸式歎賞等語無有不倫類者若夫人者徊可稱中國女宦室婦女特出之女傑焉

●當市竊衣　昨午後和生福門傍有一賣單衣服者被小竊偷去單褲一件乘隙遁去詎被失者查知形迹追至玉昌棧門首將盜捉住該竊賊尙謂其誣良爲竊出言抵抗失者大怒拳毆數四適値查街巡捕遇見詢悉情由歐擊無算立時將褲翻出贓據現在遂被該巡捕捉送至局以憑官府究懲云

●嚴緝匪徒　又聞友人云盖平縣馬績卿大令到任之後嚴拿棍徒頗孚衆望現經獲案者三四人其餘各匪聞風遠避四散奔逃昨有該城內青皮四五人潛踪來營尙恐其事敗露又隨牛庄輪船逃往山東藉避禍難然此輩素行非法肆意妄爲恐逃避他處亦不能安靜謀生必復施其慣技到處欺擾善良以爲魚肉想天網恢恢此輩縱逃諸域外亦難免身罹法網云

●刼財被捕　昨聞友人云距營東二十餘里花烟台村有一李姓者特乘小驢一頭來營買粮至村西六七里之地方禾黍叢中突出强盜五人攔截去路其一盜手執木棒劈頭一擊李姓登時倒地鮮血迸流不省人事身帶現洋五元八角如數被强盜刼去所乘之驢亦順路逃竄不知去向當有同村某甲扶救而歸適遇保甲局巡勇二人告知其事該巡勇聚集同夥五人至侯家油房即時捉獲二人而歸餘三人均乘間逃去云

營口市
豆油 二、八
麥粉 二、一八
太米 兩錢 二、〇八
三兎 全 四、〇一
馬狗 全 四、〇〇
飽馬 全 四、〇五
眞龍相連 全 四、〇七三
立馬 全 九六、〇
鐵毛 全 九一、〇〇
紅劉海 全 七九、〇五
老船 全 七八、〇五
九龍 百斤 一二
西京 全 一八、〇五
鈔換相場(正金銀行)
天津向 一〇三圓六二五(銀百弗)
五日の一兩は軍票一圓四十錢五厘
軍票一圓……金一圓一錢五厘

淡谷木局

昨年より
最高温度八十五度六　高〇〇度七
最低温度七十一度六　低〇〇度二

營口旅館料理店案内
いろは順

旅館料理　第一樓　元神廟街九十六號（營口ホテル）

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

料理　一力　營口永世街　店主　堀万助

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六　店主　村上京四郎

旅館　東京樓　營口新市場前（電話一六番、四四番）　店主　熊田粂次郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三丁程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善藏

料理　沖の嶋　永世街百六十四號　店主　中川彌三郎

料理並に氷いろいろ　翁亭　營口元神廟街　店主　長谷川金次郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館　高砂ホテル　西北街（電話一四五番）　店主　片山小みつ

料理　樂々亭　營口元神廟街　店主　武部貞

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一番）　店主　前田九一郎

料理　萬梅　豊濟門第百〇四番　店主　島田彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町　店主　和田常松

和洋料理　公樂園　南永世街

料理　喜樂亭　營口平野町

料理　都樓　平野町　店主　阪本ちか

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

旅館　品川館　營口永世街一六號

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一一三四　店和　末松信太郎

料理　醉花園　旅館　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主　河野嘉吉（電話□）

會席御料理　高等御旅館　天神樓　奉天小西關大街北側（電話□）

旅館料理店　日章館　奉天小西關大什字南街へ入　温泉村大勉強キレーデチイシヒ（電話□）

奉天兵站部指定　旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五番）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

御定宿　第一東京館　奉天小西關第五分局八一〇　館主　松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑静を主として旅館を業に罩ら御客様の御便利を計り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館　御料理　梅松館　奉天城内灰市街東華門宮殿東側　館主　押尾富次郎（電話號）
今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚（鰌井鯰蒲燒）等をも新調且つ仕出し致し御中食等は至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願候

和洋御料理　高等　遼陽城内東街一八九號　遼東館　電話　號

諸鐵工製作　鑛山船舶機械鐵工　輕便鐵道附屬鐵工　土木建築用鐵材料　其外鑄物諸般　營口ブリッシ綏定商會門街東　喜川鐵工所

和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位様

料理店旅館擴張廣告
四方各位益々御清榮奉大賀候陳者弊店備襲に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に増し盛大を來たし從つて家屋手狭まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來營衛に設け以て專門の料理店となし日本式大宴會（百人迄の設備有之候並）に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔とを主とし傍々勉強廉價に務め可申候間尚一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候　敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心とし約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度候に願上候

奉天小西關新來營街々　御料理　本店　金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街　御旅館　金城ホテル（電話一〇）
營口永世街　御料理　支店　金城館（電話八三）
營口永世街　御旅館　支店　金城ホテル
大連市吉野町　御料理　支店　金城館
大連市吉野町　御旅館　支店　金城館

遼陽城内西街　御料理　雜貨　盛進館　井川商會　店主　北ツネ

奉天軍政署指定旅館　和洋　御旅館　御料理　奉天館　奉天城内鐘樓南大街（電話十四番）

日清倶樂部（電話十五番）　奉天城内大南門裡大街　麵麭製造　西洋洗濯　靴製造　日本大工　理髪　裁縫

氷卸小賣所

一杉丸太長一丈より五間迄末口一寸以上八寸迄各種
一杉樅栂松板類各種
一大小押角挽角小割各種
一右廉價販賣
營口永世街　喜久洋行（電話一五二）

○板　○材木　○蚊帳　○疊　○金物類　○金庫　○建具　○花莚　○椅子テーブル　○ペンキ　○洋燈類　○文具　○鰹節雜魚　○紙類　○醬油　○罐詰　○其他雜貨色々
新荷着大安賣
營口西北街　石光洋行　遼陽西門外　石光洋行支店

土木建築請負　煉瓦製造販賣　有馬組遼陽出張所　遼陽城内西街　主任　海南右門
雜貨卸小賣

滿韓境上唯一樂園　五龍背温泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新緑滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

西洋料理
弊ホテル義は歐洲風の旅館にして玉臺ピヤノ及び應接室の設備有之御宴會集會多人數の御立食仕出しにも應じ尚御來客の朝食午晩に區別仕り候外一二品の御好みにも應じ篤實に調進仕候間陸續御來臨の程奉希上候
進物用に適す料理切手發賣仕り五枚以上御買求被下候は丶割引仕候
牛莊ホテル（遼河々岸）

自造　煉瓦●瓦　並に各種石材販賣
營口青堆子　加州組（電話八十六番）

土木建築用諸木料　板硝子類　マルソイド便利瓦　九州セメント　オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣
營口青堆子綏定門外　志岐組　商業部

土木建築並ニ測量設計請負　營口青堆子綏定門外　志岐組

軍隊用雜貨　日用品雜貨　食料品種々　舶來品類　其外新荷着舶來品精々大勉強販賣
遼陽西門外筋　北原洋行

醇良日本酒　金蘭
サッポロビール　孔雀印平野水
大販賣　和洋雜貨　洋酒化粧品　酒類　食料品
千賀洋行　奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店　奉天小西關大街路北

石材　石灰　大販賣　英治洋行（營口西北街）（電話三二）

ペンキ塗請負　京阪組　營口豊濟門街三十一號
臨時出張所　鐵嶺正金工場内　新民屯泰東公司内

營口特約大販賣　金升洋行　盛進商行

新荷着

白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、東京タクワン、其外和洋酒類
永世街第二十八號　大原洋行

軍隊用雜貨　日用品雜貨　吳服太物類　化粧品類　陶器類　食料品類　卸小賣
營口永世街七十號（第二市場東）　石原商店
其外新荷着精々安價販賣

東清（鐵道時刻表）
大連營口間　下り　上り
南關嶺にて乘換　大石橋營口往復の者は大石橋にて乘換へ蘇家屯撫順線各驛往復の者は蘇家屯にて乘換へ